



## 同意トークン

- [同意トークンの制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [同意トークンに関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [システムシェルアクセスの同意トークン承認プロセス \(2 ページ\)](#)
- [同意トークンの機能履歴と情報 \(4 ページ\)](#)

### 同意トークンの制約事項

- 同意トークンはデフォルトで有効であり、無効にすることはできません。
- デバイスからチャレンジが送信された後、30分以内に応答を入力する必要があります。入力しないとチャレンジが期限切れになり、新しいチャレンジの要求が必要になります。
- 単一の応答は、対応するチャレンジに対して1回だけ有効です。
- ルートシェルアクセスの最大承認タイムアウトは7日間です。
- スイッチオーバーイベント後、既存の同意トークンベースの承認はすべて期限切れとして処理されます。その後、サービスアクセスの新しい認証シーケンスを再起動する必要があります。
- シスコのチャレンジ署名サーバ上の同意トークン応答生成にアクセスできるのは、シスコ認定担当者のみです。
- システムシェルアクセスのシナリオでは、承認タイムアウトが発生するか、または同意トークン終了承認コマンドによってシェル承認が明示的に終了されるまで、シェルを終了しても承認は終了しません。

システムシェルアクセスの目的を達成したら、同意トークン終了コマンドを明示的に発行することによって、システムシェルの承認を強制終了することを推奨します。

## 同意トークンに関する情報

同意トークンは、ネットワーク管理者と Cisco Technical Assistance Centre (Cisco TAC) の相互の同意により、システムシェルにアクセスする組織のネットワーク管理者を認証するために使用されるセキュリティ機能です。

一部のデバッグシナリオでは、Cisco TAC エンジニアが特定のデバッグ情報を収集したり、実稼働システムでライブデバッグを実行する必要がある場合があります。このような場合、Cisco TAC エンジニアは、デバイスのシステムシェルにアクセスするようユーザ（ネットワーク管理者）に依頼します。同意トークンは、システムシェルへの特権アクセス、制限アクセス、およびセキュアアクセスを提供する、ロック、ロック解除、および再ロックのメカニズムです。

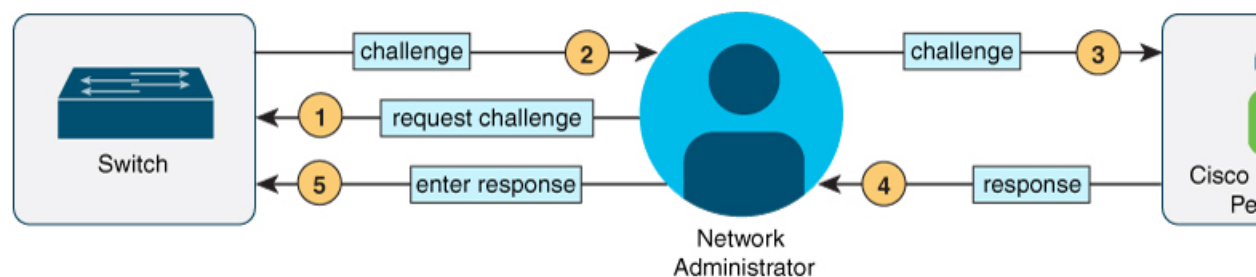
システムシェルへのアクセスを要求する場合は、認証を受ける必要があります。最初にコマンドを実行し、デバイスの同意トークン機能を使用してチャレンジを生成する必要があります。デバイスは、固有のチャレンジを出力として生成します。このチャレンジ文字列をコピーし、電子メールまたはインスタントメッセージでシスコ認定担当者に送信する必要があります。

シスコ認定担当者は、一意のチャレンジ文字列を処理し、一意のレスポンスを生成します。シスコ認定担当者はこのレスポンス文字列をコピーし、電子メールまたはインスタントメッセージで送信します。

次に、このレスポンス文字列をデバイスに入力する必要があります。チャレンジ/レスポンスペアが一致すると、システムシェルへのアクセスが許可されます。一致しない場合は、エラーが表示され、認証プロセスを繰り返す必要があります。

システムシェルにアクセスしたら、Cisco TAC エンジニアが必要とするデバッグ情報を収集します。システムシェルへのアクセスが完了したら、セッションを終了し、デバッグプロセスを続行します。

図 1: 同意トークン



## システムシェルアクセスの同意トークン承認プロセス

ここでは、システムシェルにアクセスするための同意トークン承認のプロセスについて説明します。

## 手順

**ステップ1** 指定された期間、システムシェルへのアクセスを要求するチャレンジを生成します。

例：

```
Device# request consent-token generate-challenge shell-access auth-timeout 900
% Consent token authorization success
Device#
*Jan 18 02:47:06.733: %CTOKEN-6-AUTH_UPDATE: Consent Token Update (challenge generation
attempt: Shell access 0).
```

**request consent-token generate-challenge shell-access time-validity-slot** コマンドを使用して、チャレンジの要求を送信します。システムシェルへのアクセスを要求する期間（分単位）は、**time-slot-period** です。

この例の期間は、セッションの期限切れ後 900 分です。

デバイスは、固有のチャレンジを出力として生成します。このチャレンジは、base-64 形式の文字列です。

**ステップ2** シスコ認定担当者にチャレンジ文字列を送信します。

デバイスによって生成されたチャレンジ文字列を、電子メールまたはインスタントメッセージでシスコ認定担当者に送信します。

シスコ認定担当者は固有のチャレンジ文字列を処理し、レスポンスを生成します。レスポンスもまた、固有の base-64 文字列です。シスコ認定担当者はこのレスポンス文字列をコピーし、電子メールまたはインスタントメッセージで送信します。

**ステップ3** デバイスにレスポンス文字列を入力します。

例：

```
Device# request consent-token accept-response shell-access
% Consent token authorization success
Device#
*Jan 18 02:51:37.807: %CTOKEN-6-AUTH_UPDATE: Consent Token Update (authentication success:
Shell access 0).
```

```
Device# request platform software system shell
Activity within this shell can jeopardize the functioning of the system.
Are you sure you want to continue? [y/n] y
Device#
*Jan 18 02:56:59.714: %CTOKEN-6-AUTH_UPDATE: Consent Token Update (authorization for
Shell access 0 will expire in 10 min).
```

**request consent-token accept-response shell-access response-string** コマンドを使用して、シスコ認定担当者から送信されたレスポンス文字列を入力します。

チャレンジ/レスポンスペアが一致すると、システムシェルへのアクセスが許可されます。チャレンジ/レスポンスペアが一致しない場合は、エラーが表示され、手順 1 ~ 3 を繰り返す必要があります。

承認されると、要求されたタイムスロットのシステムシェルにアクセスできます。

承認セッションの残り時間が 10 分になると、デバイスはメッセージを送信します。

**ステップ4** セッションを終了します。

例：

```
Device# request consent-token terminate-auth
% Consent token authorization termination success

Device#
*Jan 18 23:33:02.937: %CTOKEN-6-AUTH_UPDATE: Consent Token Update (terminate
authentication: Shell access 0).
Device#
```

システムシェルへのアクセスが終了したら、**request consent-token terminate-auth** コマンドを使用してセッションを終了できます。このコマンドを使用して、承認タイムアウトの前にセッションを強制終了することもできます。要求したタイムスロットが期限切れになると、セッションも自動的に終了します。

## 同意トークンの機能履歴と情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

リリース	機能情報
Cisco IOS XE Gibraltar 16.11.1	この機能が導入されました。